

Weekly Michael's News

<今週の聖句>

2017年5月22日発行 No.36

『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。』 (ヨハネによる福音書 15:5)

<見えない豊かさに繋がる大切なガイダンス!!「春のチャペル・ウィーク」実施中!!>

現在、一年生に向けてのキリスト教ガイダンスを行っています。内容は、KIUの土台とも言えるキリスト教と学院創立者である八代斌助師父の紹介、そして建学の精神の説明などです。キリスト教ガイダンス…と言うと、「変な宗教に勧誘されるのでは…?」と不安を感じる学生が多いようですが、どれもKIU生として当然知っておくべき重要な内容で、終了後の感想には「受けて良かった」という肯定的なものが多く見られました!! またチャペルに来てね〜(^^) /”



「チャペルは初めて」「聖歌を初めて歌った」という人も少なくありません

KIUの土台をお話しました



感想記入中 留学生も一所懸命

「パイプの数は1800本!!」「ええっ!?!」

早速講習希望者が現れました

<キリスト教教育同盟の関西地区協議会で感じた繋がり!! 厳しい時代だからこそ連帯を!!>

先週の土曜日、私は大阪の南端 河内長野市にある清教学園を訪れました。それはなぜか…? キリスト教教育同盟の関西地区協議会が行われたからです!! この日には関西に位置する23の学校法人から、80名近い出席者が集まり、礼拝や総会に続いて情報交換等、交流の時を持つ事ができました。私は学生時代の先輩や後輩に再会する機会が与えられその繋がり大きな力をもたらしたように感じました。少子化や経済不況など、キリスト教教育を行う私学にとって厳しい時代が続いていますが、そのような時こそ主にある希望を覚えつつ、共に手を取り合って歩みを進めて行きたいですね!!



神学部の先輩が奨励されました

<先週のメッセージ>

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています

5月15日(月) テーマ:「Stop & Look」 柿花 宏信(リハビリテーション学部)

私はこの春からKIUに着任したが、それまでは垂水の病院で働いていた。ここにはケガをして間もない患者が多く、多い時には1日20人以上の対応に追われる事もあり、その勤務は多忙を極めた。高校時代に抱いていた「一人ひとりに向き合う理学療法士」という理想と現実のギャップに悩んだ事もあったが、そんな時私の頭の片隅に存在していた言葉「Stop&Look」が私を支えてくれた。これは恩師から贈られた言葉で、どんなに忙しくても立ち止まる事と相手をしっかり見て話すというコミュニケーションの基本を意識させてくれる。そしてここにはもう一つの意味「生活の中で自分を見つめ直す」事も含まれるだろう。KIUの礼拝奨励の機会を通して、今一度この基本姿勢の重要性を考えさせられている。

5月16日(火) 音楽礼拝 伊藤 純子(オルガニスト)

今回も30名を超える礼拝出席者が与えられ、伊藤先生による聖歌176番のアレンジに耳と心を傾けました!! 次週の火曜5月30日にも音楽礼拝を行います!! ぜひご出席下さい!!

5月17日(水) テーマ:「神戸国際大学での出会い」 具 慈承(経済学部)

先日、眞子さまの結婚が発表になり報道を騒がせていたが、彼女の経験した大学での小さな出会いが、その後の人生に大きく影響を与える事に繋がっている。眞子さまだけでなく、KIUの学生に於いても、比較的自由な時間が多い大学生活の中では色々な出会いが与えられるだろう。現在、キリスト教センターでは「チャペル・ウィーク」という新入生向けのキリスト教ガイダンスが行われているが、これは「神との出会い」を意味する。「出会い」とはただ単に「縁」だけを示すのではない。その後の歩みを大きく変える可能性に満ちている。ぜひ身の周りの「見えないつながり」を考え、心を留めながら歩んで欲しい。

5月18日(木) テーマ:「キリスト教の誕生日」 オダネル・W・A(経済学部)

キリスト教会の誕生日ともいわれる大切な祝日「ペンテコステ(五旬祭)」が近づいている。今日の聖書はイエスが不当な裁判により断罪され死刑になる場面だが、この箇所は2000年前に力を誇ったローマ帝国にも様々な政治的腐敗があった事を今日に伝えている。翻って今日、私たちが集う社会はどうだろうか? 飢餓や紛争で生活を奪われる人が少なくない中、武器商人は世界中に憎しみと暴力を広げつつ、その私腹を肥やしている。しかし、そのような時だからこそ、主イエスの死によって、全ての命に与えられた公平を覚えたい。2000年前、今よりももっと大きな苦しみや痛み、そして恥の中で、新しい一歩を踏み出した弟子たちの事を覚えながら。

5月19日(金) テーマ:「かけがえのない賜物」 野間 光顕(チャプレン)

KIUのキャンパスは素晴らしい。特に今日のような快晴の日には、青い空と海に白い校舎と芝の緑が映えて本当に美しい。同時に初夏を迎えようとしているこの時期、私がよく考えるのが、木々が枝々につける葉の事だ。冬の間は死んだようになっていた木々に、鳥や虫たちが勢いを増すのと同時に、緑の葉っぱもその数や輝きが増す。よく見ると、その一枚一枚の葉は、それぞれ形や色が違う。同じように見える葉っぱでも、一枚として同じものはない。私たちの命も同じだ。年齢や性別などが同じようでも、性格や考えがそれぞれ違う。キリスト教では、それを神から与えられた恵み「賜物」と考える。今日は5月の誕生者祝福。一人ひとりに与えられている命の輝きを覚え、そこに喜びを見出しながら共に歩みを進めていきたい。(文責:野間 光顕)